

# 第128回卒業式

奨励

## 世の光

静岡英和女学院高等学校第128期生78名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また皆さんの成長を見守ってこられましたご家族の皆様、心よりお祝いを申し上げます。皆様の長年に渡る本校へのお祈りとお支えに心より感謝申し上げます。

本日の卒業式には石井博文理事長様、中井弘和学院長様、エデフォス・ケント PTA 会長様、森田拓子同窓会長様、加茂啓美母の会委員長様の方々も参列されることをとても楽しみにされておられました。また柴田敏学長様と大学関係の皆様、杉山寧後援会会長様、理事、評議員、地域の皆様、教会の先生方からもお祝いと励ましの言葉を頂いております。卒業生、教職員の皆さんと共に心より感謝申し上げます。

そして卒業生皆さんの後続く、青、黄色、紫、赤、緑の後輩たちにも共に感謝しましょう。あなたたちに憧れる後輩たちの笑顔が、あなたたちを励まし、さらに成長させてくれたと思います。

さて私は皆さんから女子校とは何か、英和とは何かを教えて頂き、とても感謝しています。

その一つは6月の体育祭でした。最上級生の優勝が英和の平和のためにどれだけ大切なのかを知りました。もう一つは英和祭です。有志のステージ、後夜祭での皆さんのパフォーマンスです。同級生や後輩たちの声援、歓声、悲鳴のような騒然とした雰囲気からも女子校、英和とは何かを教えて頂きました。

そこで、英和から旅立つ皆さんに、私から感謝を込めて、最後の励ましをお送りしたいと思います。

地球の歴史で最強の生き物は恐竜です。しかし恐竜は約1万年前、最後の氷河期に絶滅しました。一方、人間はとても弱い生き物です。しかし人間は恐竜たちの世界でも、氷河期でも生き延びました。まだ言葉も使えなかった太古の時から、人間は弱いので互いに弱さを補い、獲物を分かち合い生き延びてきたと言われていています。

どんな生き物も自然の営みに抗うことはできません。人間が文明社会を築き、どんなに進歩しても不可能です。まして文明によって自然を破壊する行為は異常気象などを招き、自らを滅ぼすことになります。目に見えないもの、沈黙するものに対して、私たち人間はもっと謙虚になるべきではないでしょうか。

イエスは「あなたがたは地の塩です。あなたがたは世の光です。」と言われました。英和で心に刻んだ「神様を愛し、隣人を自分のように愛しなさい」との言葉を光として互いを照らし、辺境に追いやられている人を見つめ、沈黙を強いられている人の声を聴き、どうかいつも小さくされている人々のことを想像し続けて下さい。そして神様の愛によって見つめ、祈り続けて下さい。

英和での学びは一つの区切りを迎えます。しかし「地の塩、世の光」としてのあなたがたの人生は続きます。神様があなたがたを選ばれ英和へ導かれました。そしてこれからも神様はあなたがたと共におられます。

皆さんの旅路に神様の祝福が豊かにありますように。

2020年3月2日

静岡英和女学院高等学校

校長 大橋 邦 一